

1 計画策定の趣旨

近年の森林・林業・木材産業を取り巻く環境は依然として厳しく、気候変動の影響による災害リスクの増加、木材価格の低迷、担い手の高齢化や減少、境界未確定森林の存在など、持続的な経営を営む上で未だ多く課題を抱えている。

一方で、森林経営管理法等の法改正、担い手の育成機関の設立や流通経路の変化など、前プラン策定から5年間で新たな環境の変化も生じている。

そのため、前プランに基づく取組の成果を検証し、新たな環境の変化を踏まえて、今後の本市の森林・林業・木材産業の振興に向けた総合的な指針となる新たなプランを策定する。あわせて、本プランでは森林整備の基準などを定める福井市森林整備計画を統合し、計画の実効性を高めるものとする。

2 計画期間

令和8年度から令和12年度までの5年間

3 福井市の森林・林業・木材産業の振興にかかる現状と課題

森林・林業・木材産業を取り巻く新たな情勢

- ▶ 気候変動に伴う森林の多面的機能に対する認識の高まり
- ▶ 素材と製材品の価格差の広がり
- ▶ 国や県の新たな森林・林業・木材産業施策
- ▶ SDGsへの対応

福井市の森林・林業・木材産業の課題

- ▶ 立地条件に応じた森林の整備・保全
- ▶ 人材の定着に向けた雇用環境の改善
- ▶ 山の価値の最大化に向けた地場競争力の向上
- ▶ デジタル技術を活用した流通体制の効率化 など

4 目指す将来像と施策の方向性

基本理念

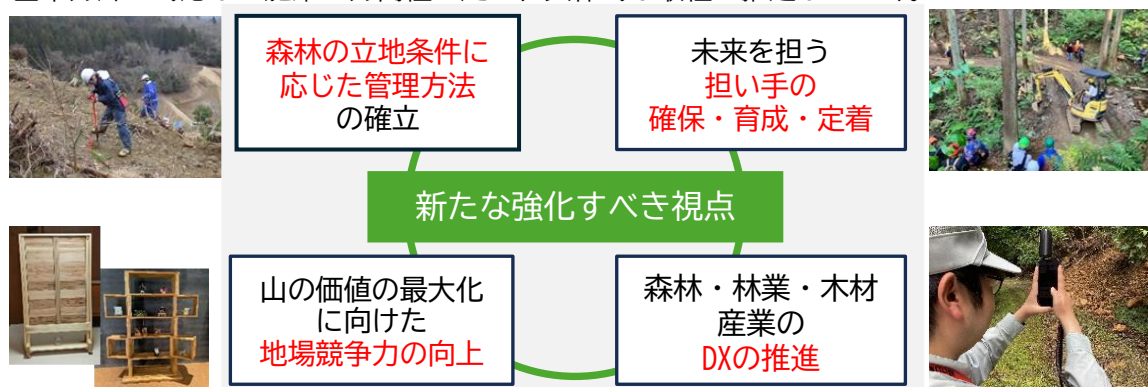
「伐って、使って、育てる。暮らしを支える森林づくりと稼げる林業の推進」

基本方針

- I 持続可能な森林づくりによる山の多面的価値の創出
- II 次世代を担う人づくりの推進
- III 稼げる林業の確立と山村の再生

施策の方向性

基本方針の実現に向け、以下の4つを新たな強化視点として位置付けるとともに、各基本方針に対応した施策の方向性を定め、具体的な取組を推進していく。



5 実現のための具体的な取組

○：継続 ◎：新規

基本方針 I 持続可能な森林づくりによる山の多面的価値の創出【施策の方向性】

強化		指標	R6実績	R12目標
1	計画的な森林整備と適正な保全の推進	森林整備面積の進捗率（年間）	85.6%	100%
2	持続可能な林業施設の整備・維持	林内路網整備延長（年間）	54.1km	55.0km
3	再生可能エネルギー及び森林吸収源対策の促進	森林経営計画の策定率（年間）	15.3%	29.0%
4	病虫害及び鳥獣被害の抑制			

基本方針 II 次世代を担う人づくりの推進【施策の方向性】

強化		指標	R6実績	R12目標
1	担い手の確保・育成・定着	新規就業者数（年間）	4名	5名
2	生産技術の維持・継承	技能研修受講者数（年間）	34名	40名
3	雇用環境の改善	就業後3年定着率（年間）	40.0%	60.0%

基本方針 III 稼げる林業の確立と山村の再生【施策の方向性】

強化		指標	R6実績	R12目標
1	地場競争力の向上	木材生産量（年間）	41,973m ³	57,700m ³
		木材出荷額（年間）	3.6億円	5.5億円
2	森林・林業・木材産業のDXの推進	新たな林産物や森林空間の商品化（累計）	0件	2件
3	森林空間を活用した木育の推進	森林（自然共生サイト、企業の森等を含む）の取組箇所（累計）	1件	3件

※ふくい木育…こどもをはじめとするすべての人が『木とふれあい、森から学ぶ』福井市の取組